



学会参加、発表の報告

インドネシアで開かれた国際透析学会（WAA2024）に行っていました。
内容は東京医大病院での急性期医療における透析による抗炎症効果と救命率向上に繋がる事への報告になります。

現地では多くの地元の先生や看護師・技師さん等の参加もあり、日本やヨーロッパ、北米で行われている最先端の医療に対して、多くの質問を頂きました。
一方で現地での透析医療に関する設備、環境はけっして十分とは言えず、本邦にて通常行われている週3回の透析環境、施設への送迎を含めて全く別世界の話を聞いているかの様な反応でした。

この度の訪問、滞在を通して現地の方々が受けられる医療には限界がある事を知り、先進国としてサポートしうる医療知識や見聞、現地の風土にあった技術提供の参画等もありなのかなと思いました。島嶼国である事から首都ジャカルタと地域の経済、教育格差は否めませんが、通常見る事の出来ない様な原付の3人乗りや一般の対面交通道路での時速100キロ近い車やバイクの追い越し、イスラムのコーランが流れる中での仏教との共存・異文化への日本の医療は当てはまらないでしょうし、患者さんやご家族の皆さんが幸せと感じる優先順位は自分たちの知り得ない所にあるのかもしれないですね。

幼少期に家族旅行で一度連れて来てもらったインドネシアに訪問できた事は、正直嬉しかったです。今回の出張はトンボ返りにはなりましたが、現地の方々の過ごし方や笑顔、表情をみると少しホッコリさせて頂きましたし、明日からの医療に役立ちそうな感じがします。

院長 上野琢哉

追記：スケジュールの関係でポスターへの発表形式変更をお願いしました。幸い優秀賞を頂きました。何歳になっても賞状授与は嬉しいものですね。